

日時 平成27年7月21日
午後7時～9時
場所 仏生寺公民館



仏	生	寺	地	区
ま	ち	づ	く	り
ふ	れ	あ	い	
ト	ー	ク		

コンビニ交付の実施に向けて



コンビニ交付サービスの検討に至った背景

- 平成27年度中に交付機とサーバーの更新が必要となる
- 住民ニーズの高まり
 - ・サービス拠点拡大の要望
- 行政サービスに対するニーズの多様化
 - ・銀行ATMの夜間休日利用、コンビニATMの定着
- 行政手続きの簡素化
 - ・申請手続きの簡素化への要望



コンビニ交付サービス実施による課題解決

導入効果① 発行拠点数の拡大

コンビニ交付サービスの最大の特徴は、
証明書交付拠点数が格段にふえます。



全国約46,000店舗



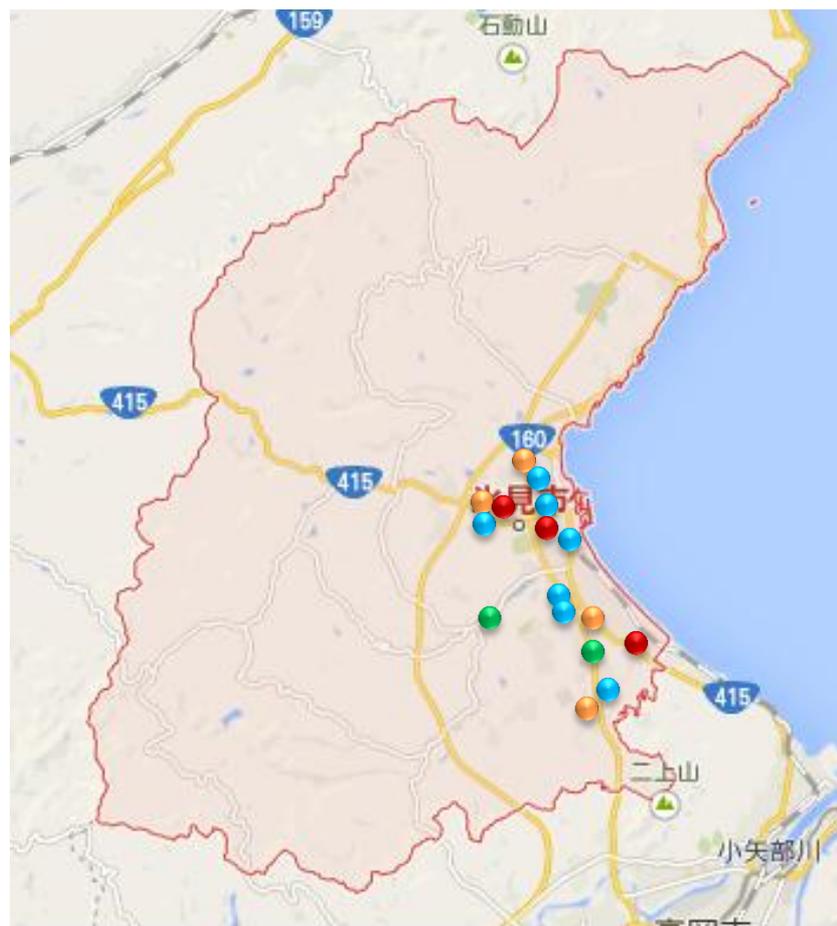
北陸三県約1,300店舗



富山県内約460店舗

導入効果① 発行拠点数の拡大

氷見市内のコンビニは合計16店舗
証明書を取得できる場所が大幅に拡大



- セブンイレブン (4店舗)
- ローソン (7店舗)
- ファミリーマート (2店舗)
- サークルKサンクス (3店舗)

導入効果② サービス提供時間の拡大

コンビニ交付サービス実施により
さらに提供時間を拡大します。

現在の氷見市証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
証明書自動交付機	09:00-19:00	08:30-17:00

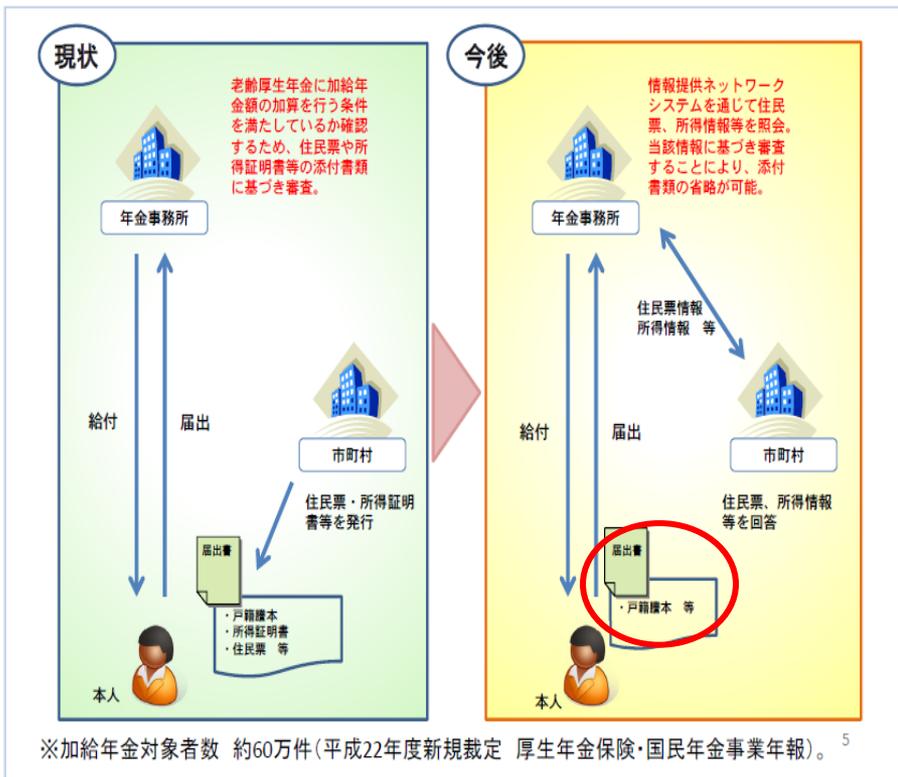
コンビニ交付サービス導入後の証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
全国各コンビニ店舗	06:30-23:00	06:30-23:00

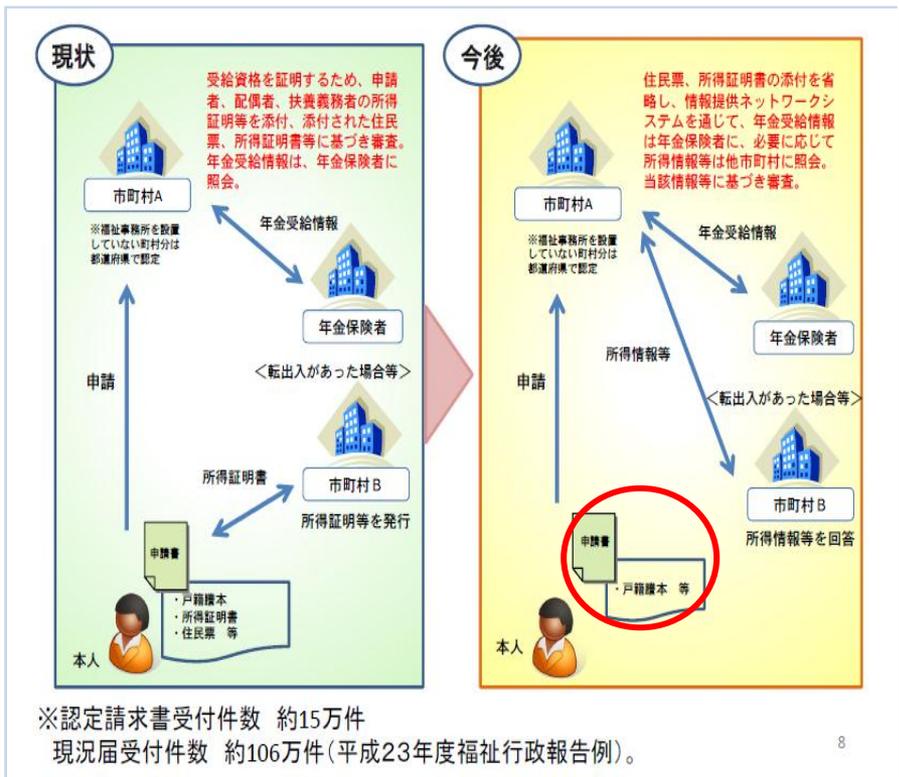
導入効果③ 戸籍証明書の対応

将来的には住民の証明書取得の機会は減るが、印鑑証明や戸籍証明は必要

老齢厚生年金の加給年金額の加算に関する手続



児童扶養手当の認定申請



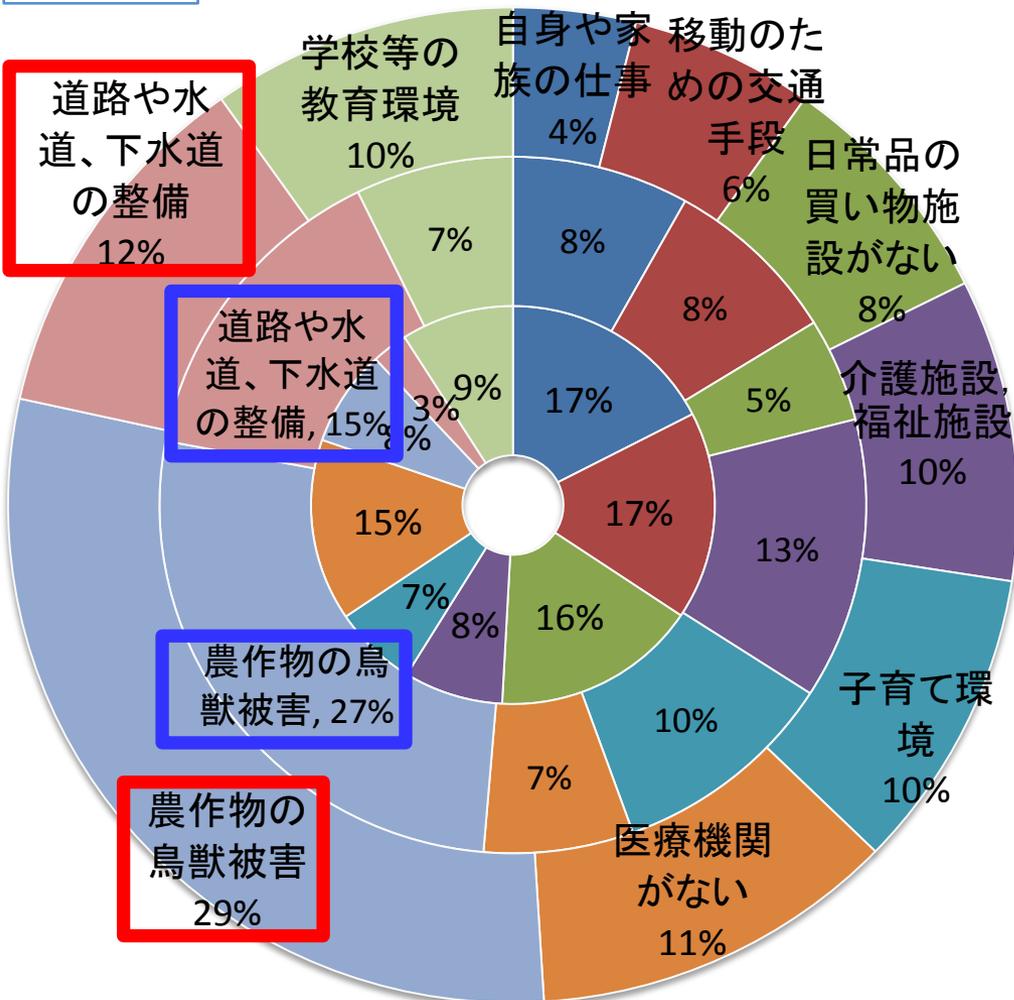
- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 地方創生について
質疑応答
- 5 昨年のふれあいトーク報告
- 6 地区の事業概要
- 7 意見交換会
- 8 閉会あいさつ

市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室 地域防災室
まちづくり推進部	荒井 市郎	都市計画・まちのグランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室 魚々座・漁業文化推進室
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
地域担当職員	小谷 超	(所属) 教育総務課
地域担当職員	高木 衛	(所属) 地方創生と自治への未来対話推進課
地域担当職員	表 俊樹	(所属) 農林畜産課

昨年のふれあいトーク報告

困り事 日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？



外円: 仏生寺地区
 中円: 氷見市全体
 内円: 全国農漁村調査結果

関心事 ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？

- 疑問・回答が今後の課題である。
- イノシシ対策について
- 生活環境の充実
- 人口問題の市長の考え
- 農作物の鳥獣被害

対応済

- 303-空き家の取り壊し助成額（継続）
- 307-イノシシの電気柵
- 25/1163-原子力災害の対応
- 25/1168-南インターのスケジュールは

27年度内

- 301-消滅自治体の対応策
- 302-体育館フロアの修繕
- 304-高岡までの循環バス
- 306-愛育園の費用負担

可能

28年度以降

- 305-子どもの遊び場
- 25/1162-防災無線以外の情報取得
(3016再掲)
- 25/2043-吉池山川線の改良

未定

- 25/1174-除雪機械の更新

参考意見

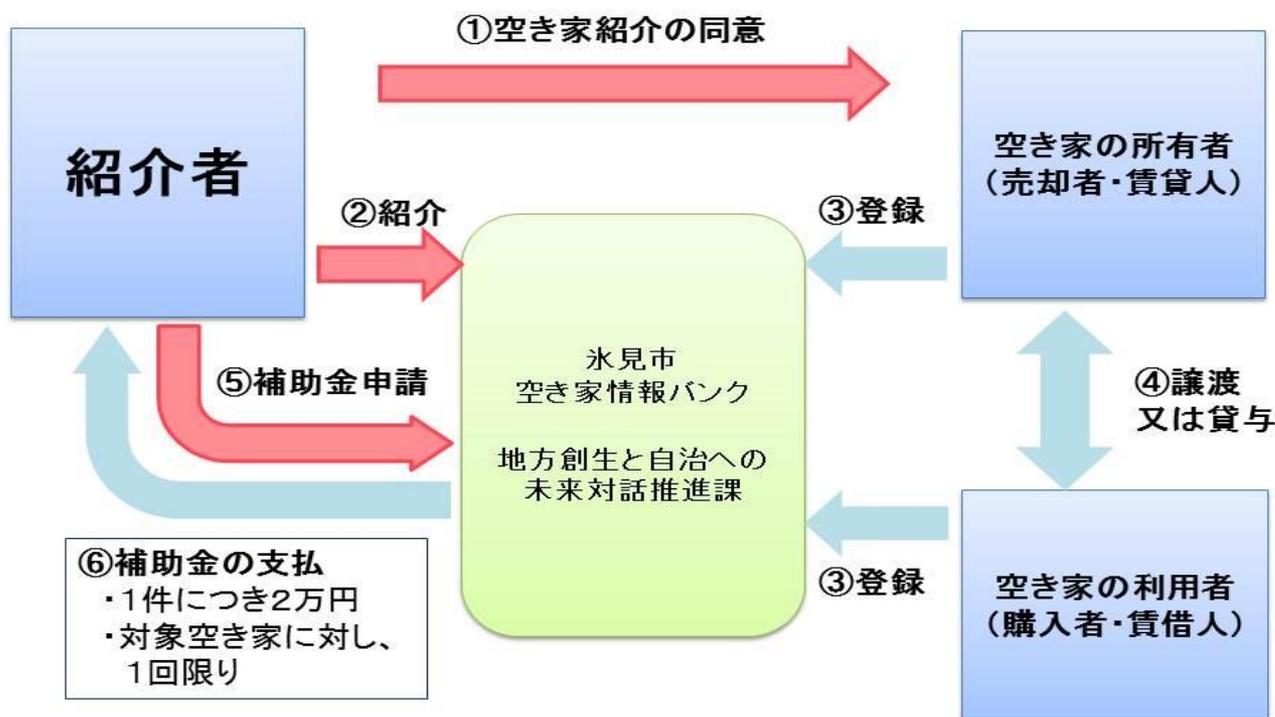
308-イタセンパラ保護の価値

平成27年4月1日より、空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した者に対し、対象の空き家が氷見市空き家情報バンクに登録され、譲渡又は貸与されたときに補助金を交付します。

補助金の額は、1件につき20,000円とします。

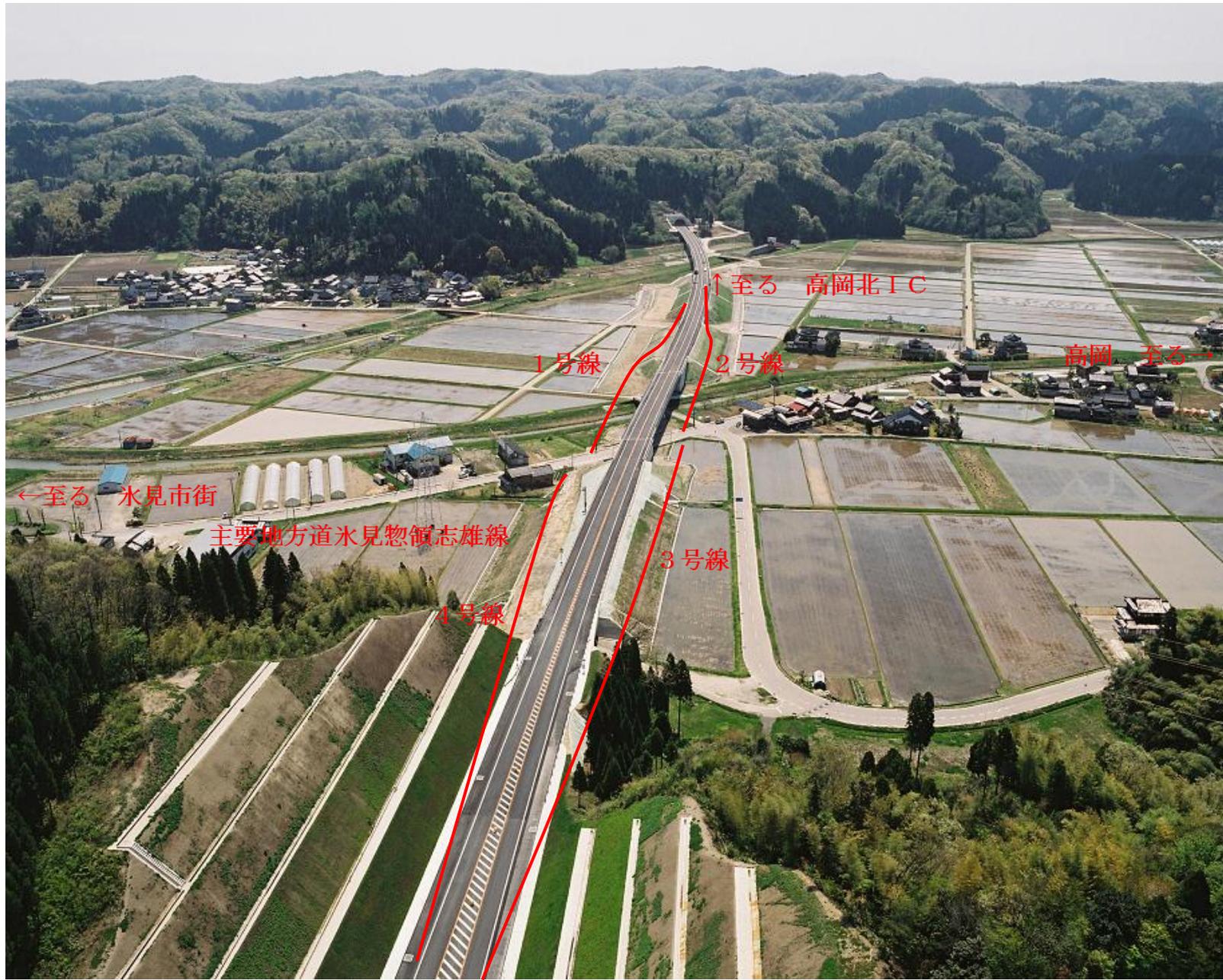
(補助金の交付は、対象となる空き家に対し、1回限りとします。)

氷見市空き家紹介奨励補助金制度について(イメージ)



◆申請先及び問い合わせ先
地方創生と自治への未来対話推進課

TEL74-8075



平成25年度	設計費	518万円
平成26年度	工事費	2,052万円
平成27年度	工事費	2,219万円



仏生寺地区の事業概要

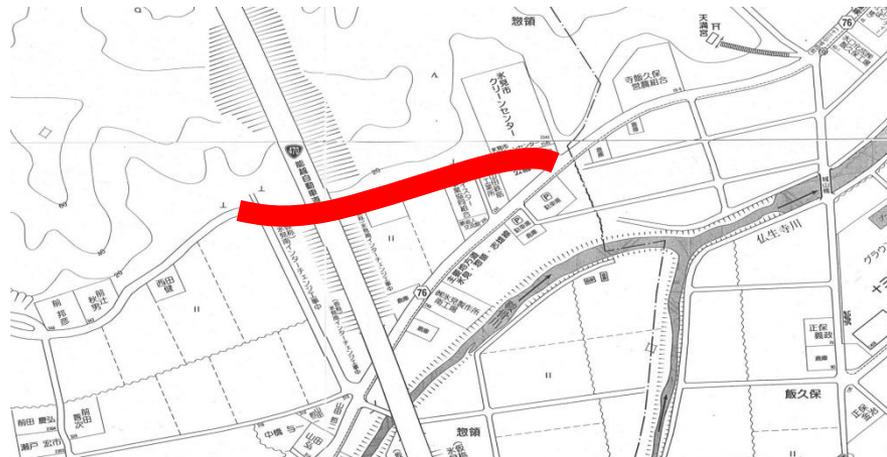
■地区の工事箇所

11

27まちづくり
ふれあいトーク

実施年度	工事名	工事場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予算額
H27	市道氷見南インター1号線整備(その2)工事	惣領	H27.4.21	H27.5.8	1,263,600
H27	能越自動車道氷見南IC整備に先立つ惣領浦之前遺跡本発掘調査業務委託	惣領	H27.5.13	H28.3.14	6,102,000
H27	市道氷見南インター線橋梁上部工事	惣領	H27.6.15	H28.2.29	120,852,000
H27	能越自動車道氷見南インターチェンジ(仮称)整備工事委託	惣領	H27.6.15	H28.3.31	298,869,157
H27	市道中谷内惣領線道路改良工事	惣領	H27.6.23	H28.3.31	66,800,000
H27	市道吉池山川線道路改良(その2)工事	仏生寺	7月下旬予定		22,194,000
H27	県単脇之谷内地区治山工事	脇之谷内	7月下旬予定		5,400,000
H27	脇之谷内頭川線津々良トンネル点検、脇之谷内勝木原線法面構造物点検	脇之谷内	7月下旬予定		2,338,200
H27	細越地区小規模急傾斜地崩壊防止工事	細越	8月予定		7,500,000
H27	県単鞍骨地区治山工事	鞍骨	9月予定		4,000,000
H27	県単上中地区治山工事	上中	9月予定		4,000,000
				H27計	539,318,957

市道中谷内惣領線道路改良工事

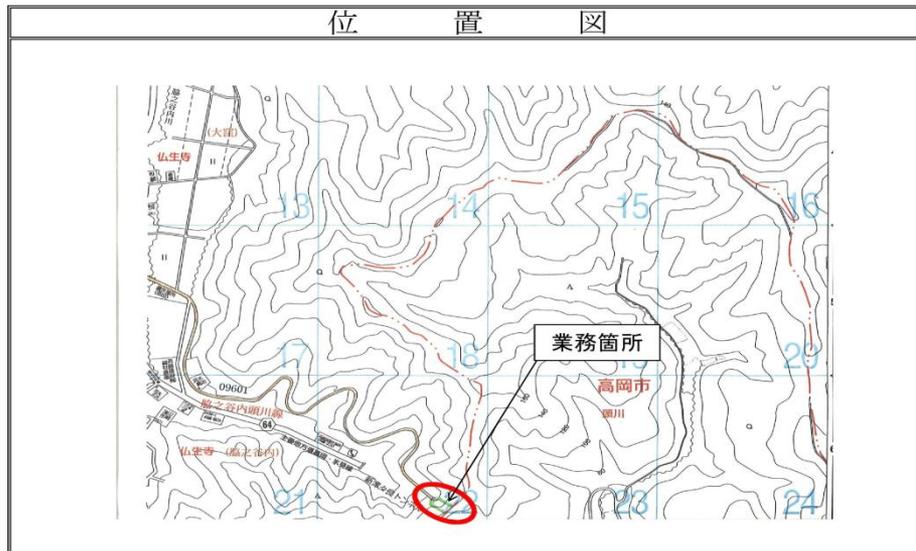


県単脇之谷内地区治山工事



脇之谷内頭川線津々良トンネル点検

位置図

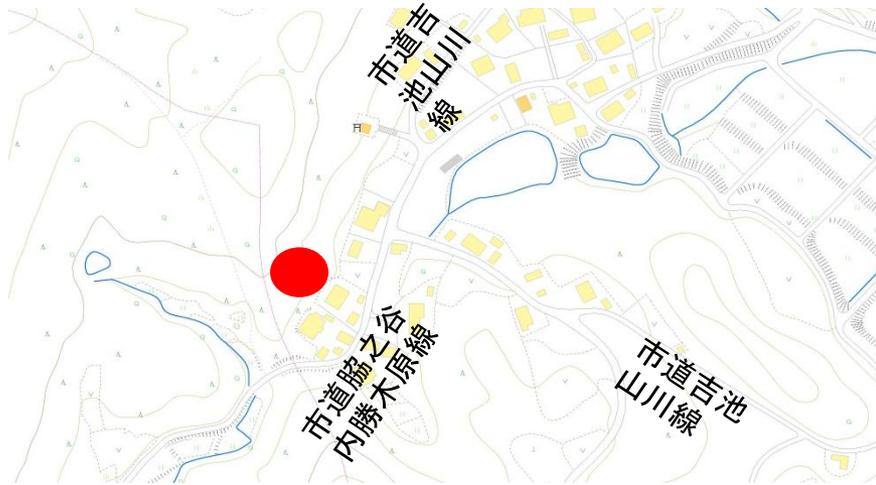


脇之谷内勝木原線法面構造物点検

位置図



細越地区小規模急傾斜地崩壊防止工事



県単鞍骨地区治山工事



県単上中地区治山工事



実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	クリエイト・マイ・タウン事業	旧仏生寺小学校体育館における カロリング用施設整備事業	400,000	地方創生と自治への未来対話推進課	予定
H27	安心生活創造事業	高齢者世帯等の見守り及び買い物支援等を行い、住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整備する。	300,000	福祉介護課	H24～
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施	5,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	7月19日 細越大池
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。	職員対応	健康課	7月10日 適切なお酒との付き合い
H27	高齢者料理教室	食生活改善推進員から一般住民へ生活習慣病予防の食事についての講習会を開催する	4,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	10月
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。	4,200	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	5月21日及び秋予定
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。	3,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	5月28日
H27	健診PR活動(旗立て)	地区内に健診PRの旗をたて、住民健診の受診勧奨を行なう	2,000	健康課・健康づくりボランティア連絡協議会	7月～9月
H27	小型動力ポンプ購入費	吉池・上中地区配備の小型動力ポンプを更新	1,640,400	消防本部警防課	10月予定

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	道路の原材料支給事業	上中 砕石20 t	4,320	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	上中 生コン10m3	196,560	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	吉池 砕石20 t	4,320	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	吉池 生コン10m3	196,560	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	脇之谷内 簡易舗装材20m3	172,800	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	細越 生コン10m3	196,560	建設課	
H27	市単土地改良事業	土地改良支援事業〔上中〕農道法面補修	100,000	建設課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等)、農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援、惣領(2,469,750円)、吉池(156,900円)	2,626,650	農林畜産課	
H27	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修)、営農活動(農業機械購入等)への支援、細越(1,113,315円)、脇之谷内(1,596,947円)、吉池(1,613,404円)	4,323,666	農林畜産課	
H27	優良無花粉杉「立山森の輝き」普及推進事業(水と緑の森づくり事業)	測量、境界等調査の実施 鞍骨地区A=1.75ha 委託先:西部森林組合	78,750	農林畜産課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 上原 2件	124,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 上中 1件	37,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 鞍骨 4件	206,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 惣領 1件	282,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	氷見市有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 細越 3件	127,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	氷見市浄化槽整備推進モデル地区事業	浄化槽の計画的な整備に対し浄化槽設置費などを補助 (上中地区)	50,000	上下水道課	予定
		H27計	11,084,786		

地方創生について

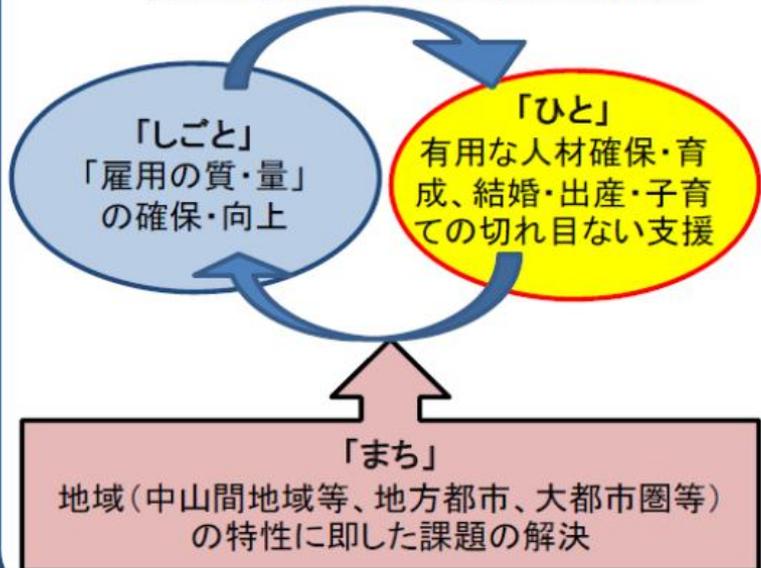
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「パラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」:人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」:人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

<地方人口ビジョン>

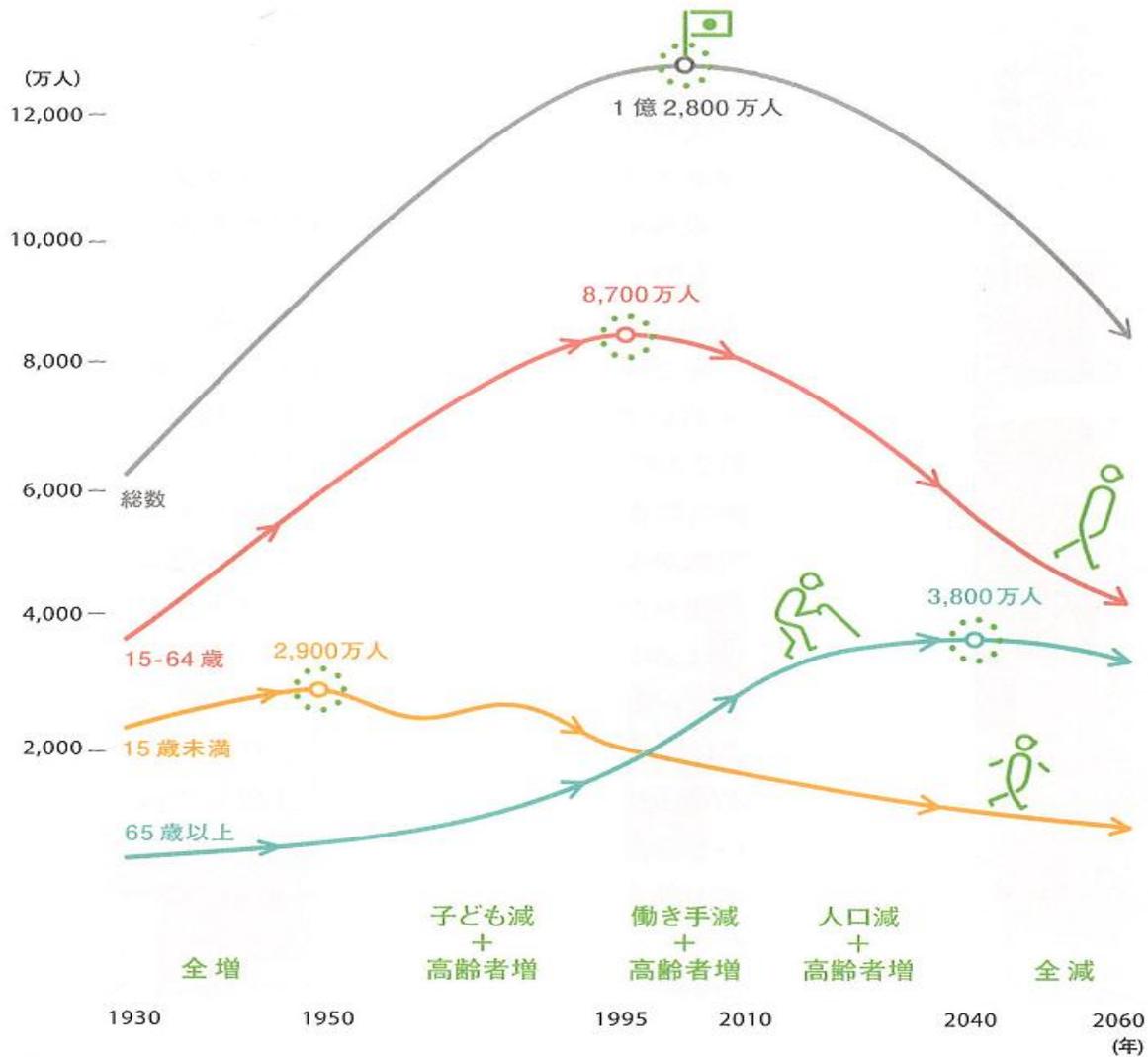
- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

<地方版総合戦略>

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

3区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



出典：人口減少×デザイン 著 笥 裕介

2050年における都道府県別人口減少率 (2010年比)

	2020年		2030年		2040年	
1	秋田県	-11.7%	秋田県	-23.8%	秋田県	-35.6%
2	青森県	-10.0%	青森県	-21.0%	青森県	-32.1%
3	高知県	-9.3%	高知県	-19.5%	高知県	-29.8%
4	岩手県	-9.3%	岩手県	-19.4%	岩手県	-29.5%
5	山形県	-9.1%	山形県	-18.8%	山形県	-28.5%
43	滋賀県	+0.2%	愛知県	-2.7%	神奈川県	-7.8%
44	滋賀県	+0.4%	滋賀県	-2.5%	愛知県	-7.5%
45	神奈川県	+0.6%	神奈川県	-2.4%	滋賀県	-7.2%
46	東京都	+1.2%	東京都	-1.5%	東京都	-6.5%
47	沖縄県	+1.7%	沖縄県	+0.9%	沖縄県	-1.7%

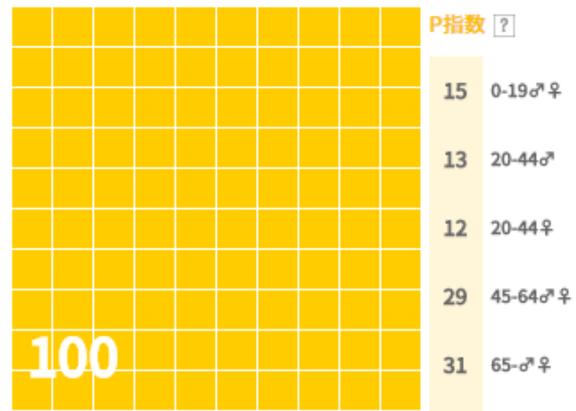


出典：人口減少×デザイン 著 筧 裕介

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



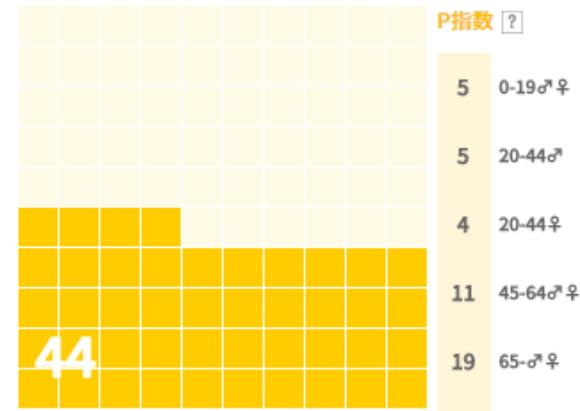
合計 約51,000人

+

なんの対策も
行わない

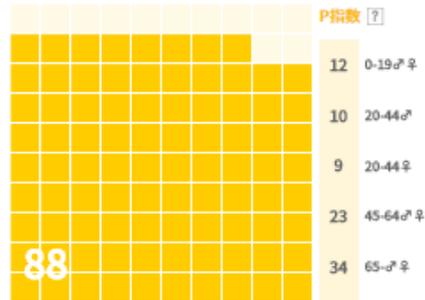
=

2060



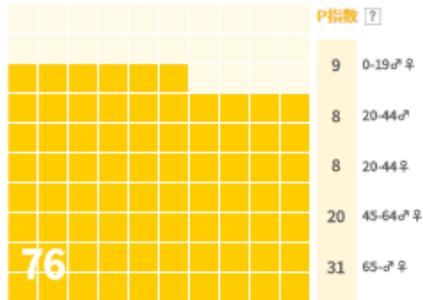
合計 約23,000人

2020



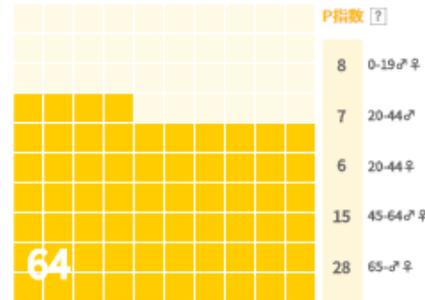
合計 約45,000人

2030



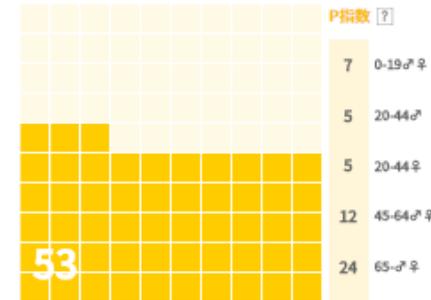
合計 約39,000人

2040



合計 約33,000人

2050

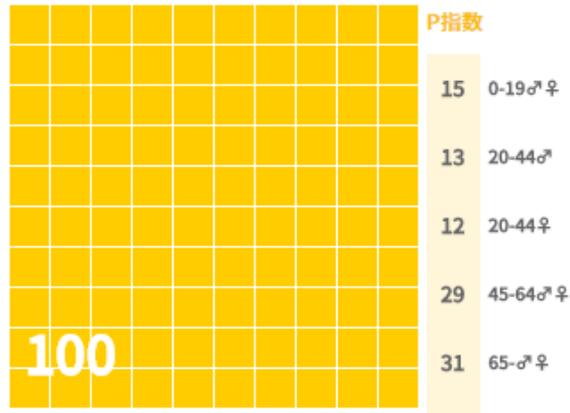


合計 約27,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



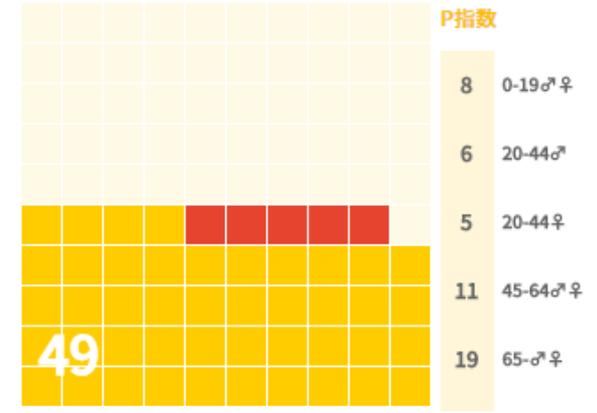
合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**



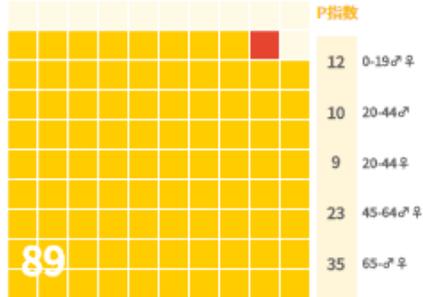
2060



合計 約23,000人 → 25,000人

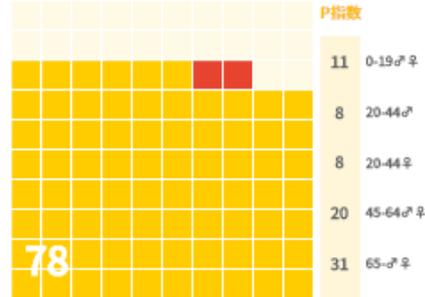
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



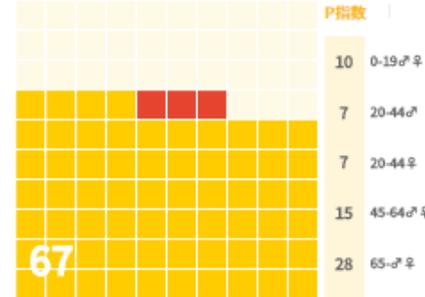
合計 約45,000人 → 45,000人

2030



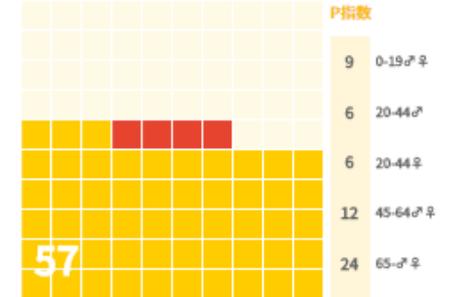
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 34,000人

2050

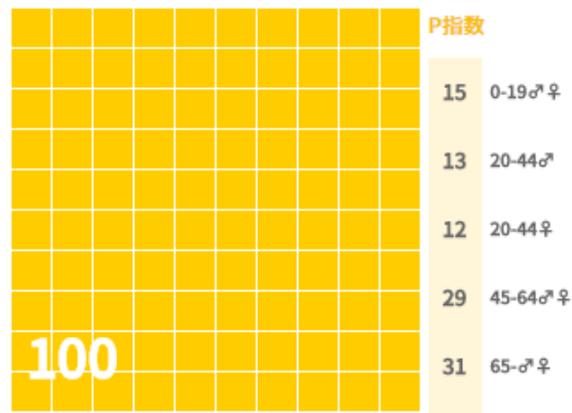


合計 約27,000人 → 29,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数 (年間)

102人増やす

増やす

転出者数 (年間) を

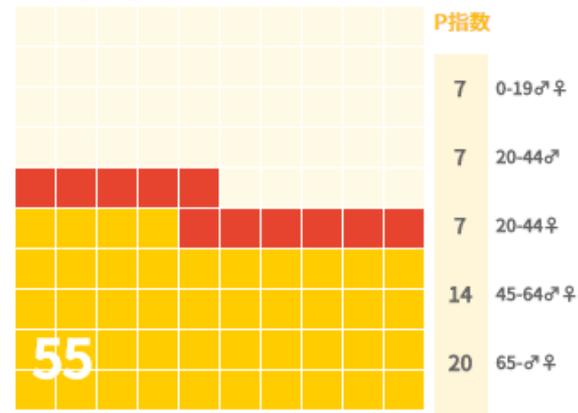
0人

減らす

+

=

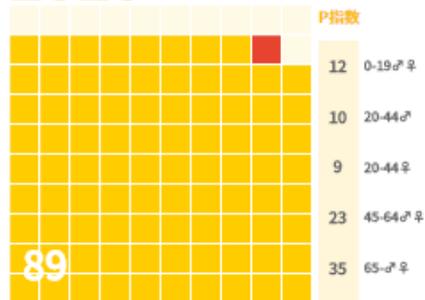
2060



合計 約23,000人 → 28,000人

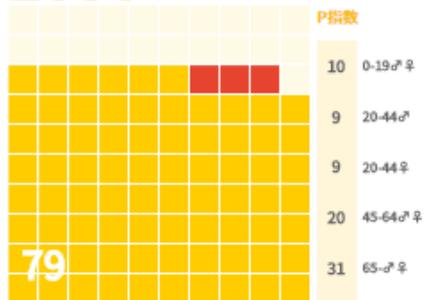
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37のまま
転入者数(20-49歳) **613人 → 715に増やす**
転出者数(15-24歳) 425人のまま

2020



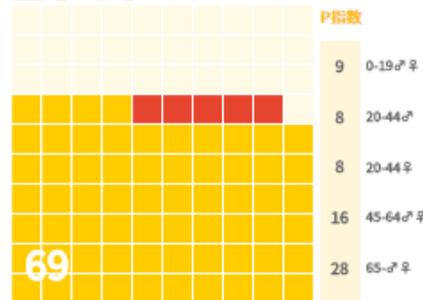
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 36,000人

2050

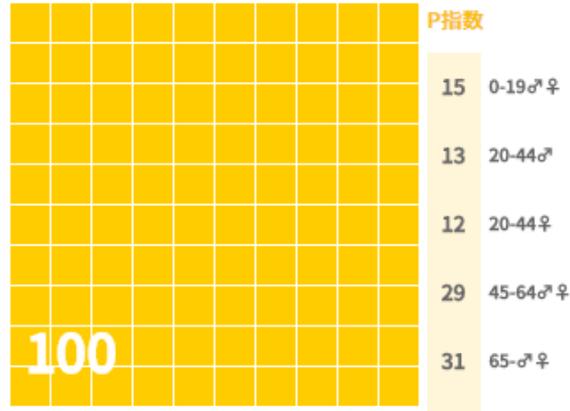


合計 約27,000人 → 31,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数(年間)を

0人

増やす

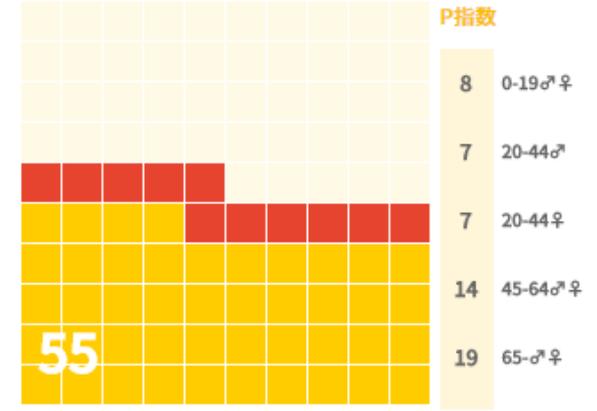
転出者数(年間)

100人減らす

減らす

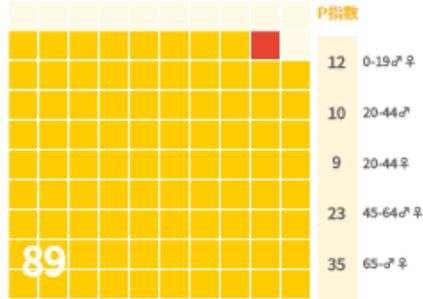
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から1.80へ
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人→**325人まで減らす**

2060



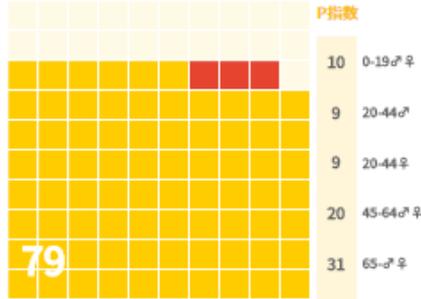
合計約23,000人 → 28,000人

2020



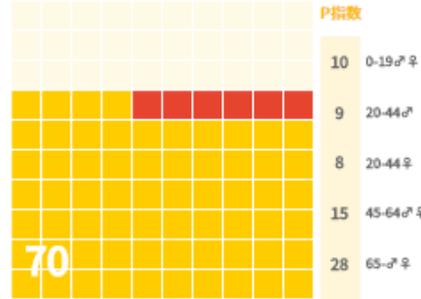
合計約45,000人 → 46,000人

2030



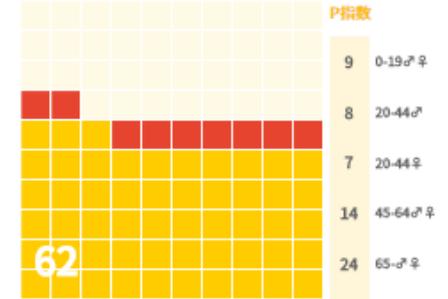
合計約39,000人 → 40,000人

2040



合計約33,000人 → 36,000人

2050

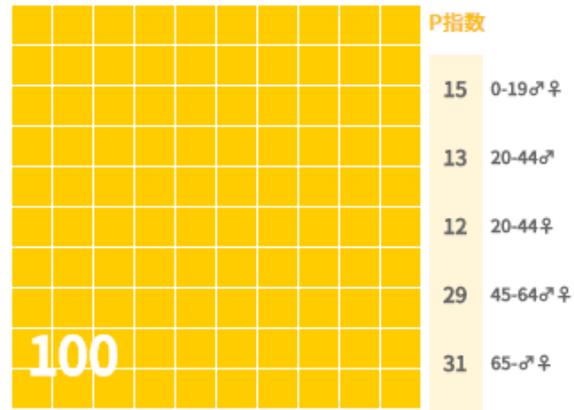


合計約27,000人 → 32,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**

にする

転入者数 (年間)
102人増やす

増やす

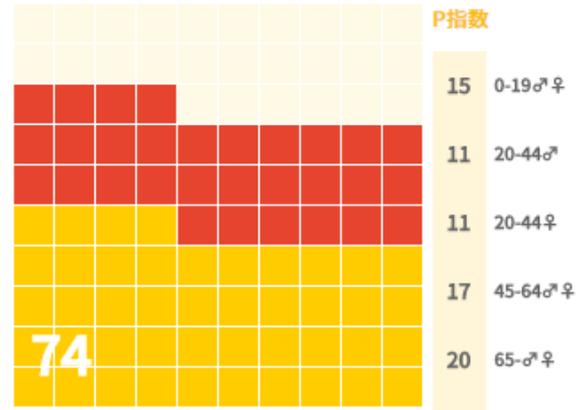
転出者数 (年間)
100人減らす

減らす

+

=

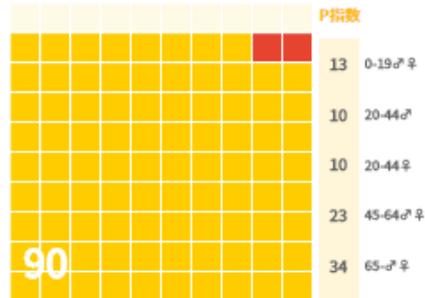
2060



合計 約23,000人 → 38,000人

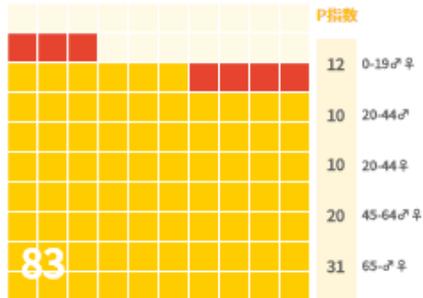
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数 (20-49歳) **613人→715に増やす**
転出者数 (15-24歳) 325人まで減らす

2020



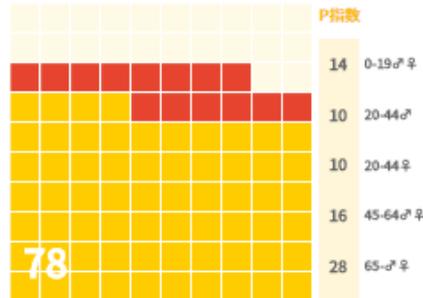
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



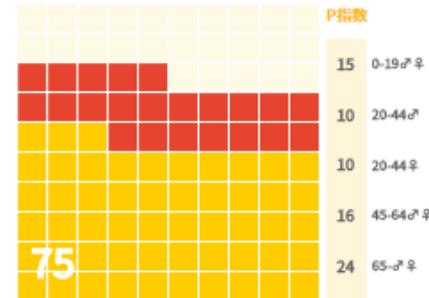
合計 約39,000人 → 42,000人

2040



合計 約33,000人 → 40,000人

2050

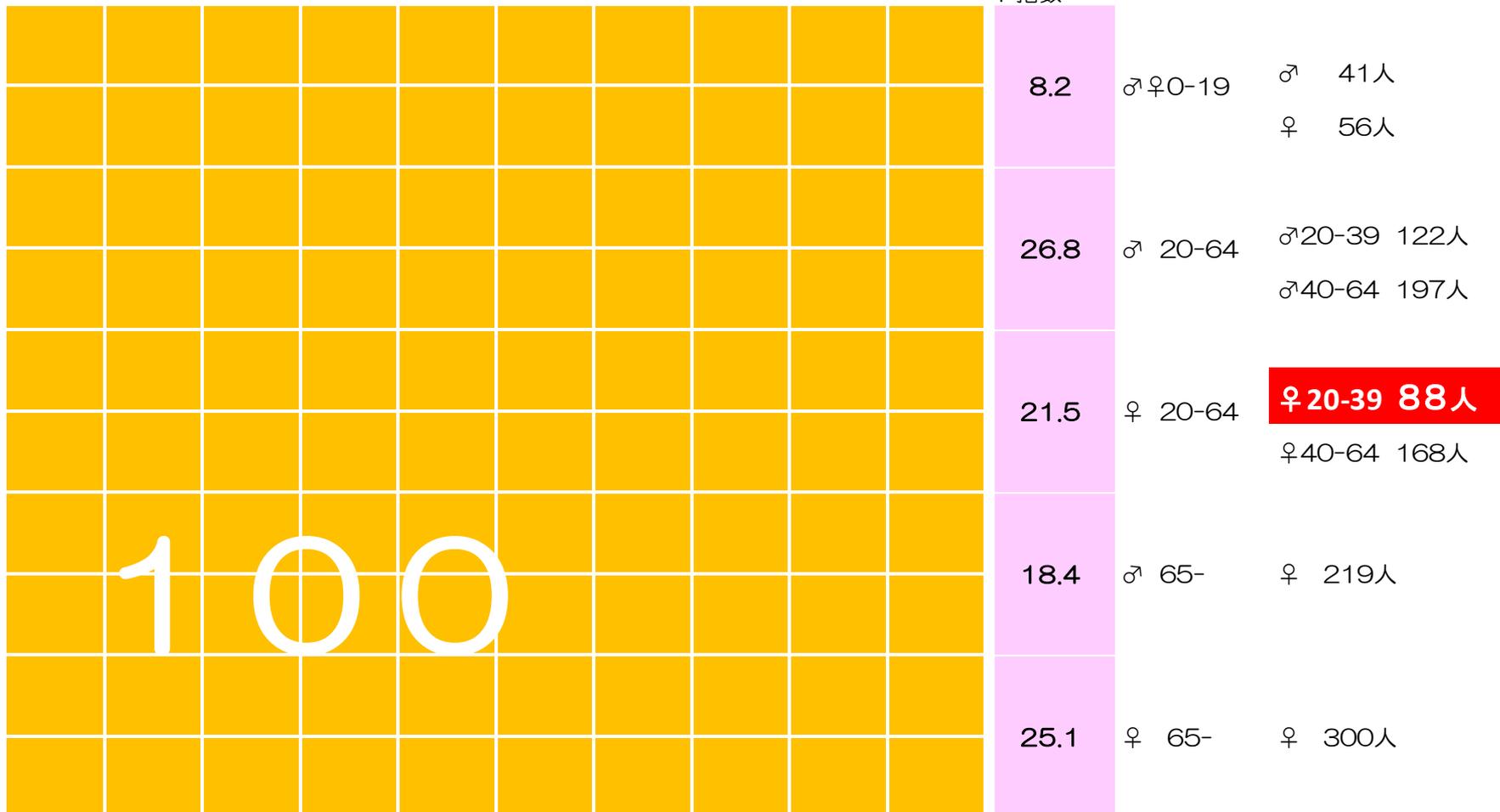


合計 約27,000人 → 38,000人

2010

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

P指数

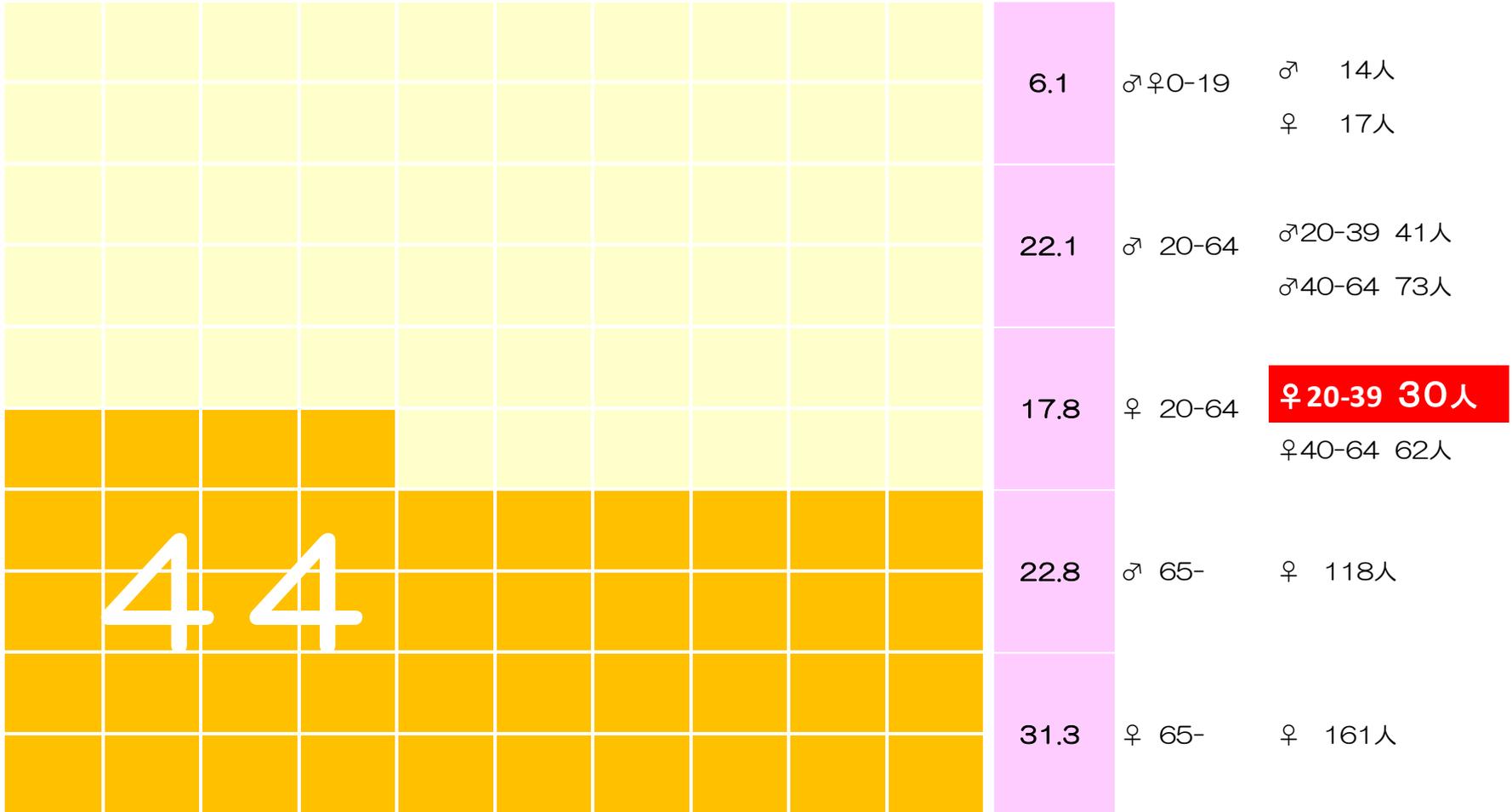


仏生寺地区 人口1,191人

2060

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

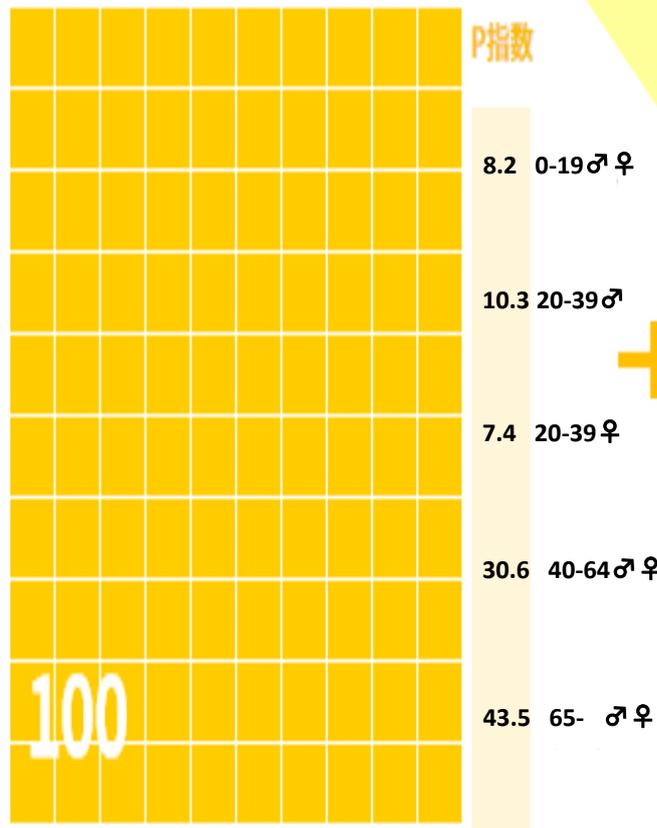
P指数



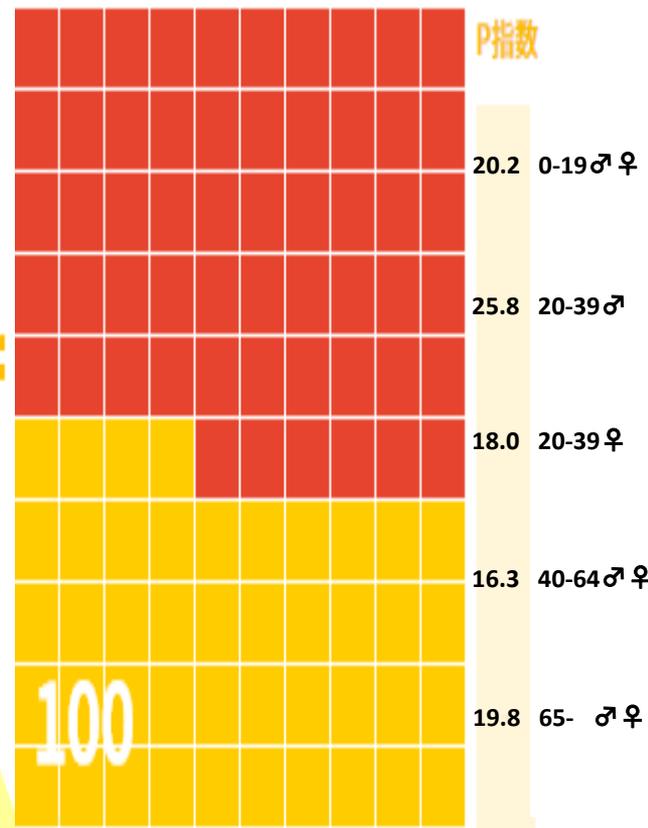
仏生寺地区 人口516人（推計）

仏生寺地区 人口1,191人

2010



2060



合計特殊出生率
2.1とする

年間転入者数(20-49歳)
4.2人増やす

年間転出者数(15-24歳)
4.2人減らす

仏生寺地区 人口1,191人

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ②各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1. **仏生寺**地区へ、20～49歳の転入者を毎年4.2人増やすために、どんなことをすればよいでしょうか。

Q 2. **仏生寺**地区から、15～24歳の転出者を毎年4.2人減らすために、どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

仏生寺地区代表